



SHINYGELprofessional パワーベース 製品資料

パワーベースをよりよくお使いいただくための解説および Q&A をまとめた資料です。講習活動やサロンワークにお役立てください。

1. パワーベースとは.....

1) 従来品とは違う密着手法「新クロス重合」で定着の良さを実現

強酸で爪表面を溶かして定着性を高めるのではなく、「新クロス重合」という特殊な密着手法で定着性を高めています。人間の肌や爪が丈夫な状態を安定して保つことができる弱酸性で、爪にやさしく、刺激臭などありません。

新クロス重合とは、成分分子の結合が従来の直鎖結合に加え、加水分解反応する側鎖結合を併せもった重合構造のこと。加水分解反応によって爪の水分に親和する力が、従来よりも強くなりました。そのため、ウォーターケアや炭酸バブルトリートメントを取り入れた施術、また水によく手を触れる方にも適しています。水分に反応し、爪とジェルとの接着が高まることで、爪への負担を最小限にしつつ、より強く持続力のあるジェルネイルを実現しました。

2) 二酸化ケイ素(シリカ)配合でジェルの粘性アップやオフの容易さを実現

パワーベースはコントロールしやすい粘性に調整されています。セルフレベリングは早く、それでいて流れにくくなっているため、ブラシコントロールが良く、厚みも出しやすい操作性の良いベースジェルです。

二酸化ケイ素（シリカ）のガラス質粒子が絶妙な比率で配合されているため、爪とジェルの有効接着面積をバランスよくコントロールし、爪や皮膚への負担を軽減した容易なオフが実現しました。シャイニージェルのみで施術した場合のジェルオフでは、ダストの量が減り、アセトンが皮膚に触れている時間が短くなることで、爪や皮膚への負担が最小限になるとともに、技術者の作業負担を軽減させるメリットもあります。

2. 基本の施術方法.....

1) プレパレーション

- ・キューティクルケアを施し、シャイニージェルクリーナー*とワイプで爪の表面を拭きます。*エタノールも可
- ・基本的にはサンディング不要ですが、爪の状態に応じて必要であればサンディングを行ってください。

2) ジェル塗布

- ・パワーベースを塗布し、硬化します。
- ・ブラシワークは特に指定はありません。
- ・キューティクルラインからサイドまで塗り残しのないよう注意しましょう。
- ・エッジはしっかりキャップすること。
- ・皮膚に付着したジェルはリフトの原因となりますので、除去してから硬化してください。
- ・お客様の状況に合った、適切なジェルの量を均一に塗布して下さい。

3. よくある質問 Q&A.....

1) すぐにリフトしてしまいます。リフト改善策を教えてください。

以下の事項を確認してください。

●爪に余分な成分が付着していませんか？

油分が残っている場合

- ➡パワーベースを塗布する前はシャイニージェルクリーナー*とワイプで爪表面をしっかり油分を拭き取って下さい。*エタノールも可

爪に他のジェルやアクリル、シルクラップなどが付いている(残っている)場合

- ➡他のジェルやアクリルを完全に除去してから塗布してください。

※前に塗布していたジェルの成分がつま全体に吸着している場合は、パワーベースが定着しにくいことがあります。他社製のジェルからパワーベースに変更する場合は特に注意し、必要に応じてサンディングを行ってください。

※シルクラップなどの上には、パワーベースが定着しにくいことがあります。リペアを行う場合は他の方法で行ってください。(Q&A 4をご参照ください)

●爪表面の状態は適切ですか？

基本的にサンディングは不要ですが、状況に応じてサンディングした方が良い場合があります。

爪の表面が傷みや乾燥でガサガサしている場合（他社製のジェルオフ後や年齢による乾燥など）

- ➡オフがしにくくなることがあるため、爪表面を整えてからパワーベースを塗布してください。
- ➡爪が乾燥している場合はパワーベースの定着が悪くなることがあります。ウォーターケアや炭酸バブルトリートメント等を施した後にパワーベースを塗布してください。

●パワーベースの塗布量は適切ですか？

爪と同じ程度の厚みになる量が目安です。

- ➡一般的なジェルは爪と面密着するものが多いですが、パワーベースは爪と点密着するため爪に負担がかかりにくい分、ジェルの定着を安定させるための厚み（量）が必要になります。パワーベースで耐久性とフォルムをつくり、カラージェルやトップは薄めに塗布します。
- ➡一度の塗布で厚みが出せない場合は2度に分けて塗布しても構いませんが、最終的に適切な量が塗布されていない（薄い）場合、ジェルが爪に定着せずリフトが早まることがあります。

●硬化不足になっていませんか？

ライトが正しく照射されていない場合

- ➡指（爪）の位置や向きは適切ですか？ランプの光がなるべく爪に垂直に当たるよう、指を置く位置と向きをご確認下さい。
- ➡LED 電球にジェルが付着していたり、汚れていませんか？電球の汚れは照射の妨げになるため、定期的に清掃してください。

硬化時間が適切で無い場合

- ➡パワーベースの適切な硬化時間を確認して下さい。

36W クレッシュェンド LED／36W クレッシュェンドハイブリッド LED	20 秒～
32W グランデ LED／18W アドバンス LED	30 秒～
16W LED／12W LED	40 秒～
12W CCFL	60 秒～
36W UV（HCFL）	120 秒～

※他社製の LED ランプは照射パワーが足りない場合があるため、硬化時間を長めにしてください。

●爪が薄い場合、耐久性と柔軟性は爪に対して適切ですか？

➡爪が傷んで薄い場合は、パワーベースの塗布量を増やして補強し、さらに硬度と柔軟性があるクリスタルトップを使用して耐久性をアップさせるとリフト防止になります。

(パワーベース→クリスタルトップ→カラー→クリスタルトップ)

※他社製のジェルとパワーベースを併用するとき、硬く柔軟性に乏しいジェル（カラージェルも含む）を使用した場合は、ジェルが爪のしなりについていけずリフトの原因になる場合があります。

※シャイニージェルプロフェッショナルのフィルインジェルをトップに使用する場合は、薄く塗布するよう注意しましょう。

2) パワーベース塗布時に縮みが発生します。改善策を教えてください。

以下の事項を確認してください。

●爪に余分な成分が付着していませんか？

➡パワーベースを塗布する前はシャイニージェルクリーナー*とワイプで爪表面をしっかりと油分を拭き取って下さい。*エタノールも可

●キワまでブラシコントロールできていますか？

➡技術者のブラシコントロールに合わせて塗布できる粘性になっています。そのため、キワまでしっかりブラシが運ばれているかどうか、サイド確認して下さい。

3) カラージェルを乗せると縮みが発生します。改善策を教えてください。

以下の事項を確認してください。

●パワーベースの硬化は適切ですか？

➡未硬化ジェルが多い場合、カラージェルを弾いて縮みが生じることがあります。パワーベースの硬化時間を長めにし、それでも未硬化ジェルが多いと感じる場合はワイプで拭き取ってからカラージェルを塗布して下さい。

●カラージェルの塗布量は適切ですか？

➡カラージェルの塗布量が多い場合、ジェルが端に溜まり縮みが生じることがあります。シャイニージェル製のカラージェルは、発色が良く伸びが良いため、1度目は薄くカラージェルを塗布し、2度目でしっかり色を出すよう塗布量を調節し、2度塗りで仕上げて下さい。

4) パワーベース使用時のリペアの方法を教えてください。

リペア方法の一例をご紹介します。

●クリスタルトップでリペア

➡亀裂の大きさ、耐久性を考慮した塗布量で、以下の手順で塗布してください。

- ①パワーベースを爪全体に、少し多めに塗布し硬化。
- ②クリスタルトップで爪全体をオーバーレイし、硬化。
- ③カラー→クリスタルトップ

●アクリルでリペア

➡亀裂の大きさ、耐久性を考慮した塗布量で、以下の手順で塗布してください。

- ①アクリルで通常通りリペアを行う。(必要に応じて表面を整える)
- ②ナチュラルネイルの部分のみに、パワーベースを適量塗布し、硬化。
- ③アクリルとジェルの境目の凹凸を埋め、強度を出す目的でクリスタルトップを全体に塗布し、硬化。
- ④カラー→クリスタルトップ

●フィルインジェル（ハードジェル）でリペア

➡亀裂の大きさ、耐久性を考慮した塗布量で、以下の手順で塗布してください。

- ①リペアする部分を 180G のゼブラファイルでサンディング。
- ②爪上の消毒後、リペアする部分（フィルインジェルを塗布する部分）にシャイニーボンダーを塗布し、硬化。
- ③リペア部分にフィルインジェルを塗布し、硬化。(必要に応じて表面を整える)
- ④ナチュラルネイルの部分のみに、パワーベースを適量塗布し、硬化。
- ⑤爪全体をクリスタルトップでオーバーレイし、硬化。
- ⑥カラー→クリスタルトップ

※リペアが適切でない場合は亀裂やリフトが起こる可能性があります。製品の特長を考慮しましょう

※爪の亀裂部分にネイルグルーを使用する場合は、グルー表面のつや消しを行ってください。

※シルクラップやファイバーラップは、使用方法によってパワーベースとの相性が悪い場合がありますので推奨しておりません。上記のいずれかの方法でリペアしてください。

5) 他社製のジェルから切り替える際の注意点や方法を教えてください。

他社製ジェルからパワーベースへ切り替える際は、以下の項目に注意して下さい。切り替え直後は爪の状態によってはリフトしやすい可能性があり、安定するまで2~4ヶ月程度かかる場合があります。

●爪上に余分な成分が残らないようにする

- ➡他社製のジェルをオフできるようであれば、すべて除去してからパワーベースを厚めに塗布します。ジェルが取りきれないときは、必要に応じて爪表面をサンディングしてください。

●初めの数回は水分を利用した施術をする

- ➡初めの数回は爪全体または爪の外側部分をO字型にサンディングし、ウォーターケア等で水分を利用した施術を行うと良いでしょう。

●爪が薄く、耐久性が無い爪の場合

- ➡パワーベースを通常よりも厚めに塗布し、硬化した後、クリスタルトップを薄く爪全体に塗布して補強し、耐久性をアップさせましょう。(その後、カラージェル→トップコート)

●爪が薄く、他社製のジェルが完全に除去しきれない場合

- ➡アクリルやフィルインジェルを使用したリペアと同じ方法で、他社製のジェルが取りきれない部分は残し、ナチュラルネイル部分のみにパワーベースを塗布して硬化。その後、クリスタルトップで全体をオーバーレイします。これを繰り返して3~4ヶ月程度かけて徐々に切り替えてください。
- ※除去せずに残した他社製のジェルの表面は、サンディングが必要です。

パワーベースが持たない！？

原因説明チェックシート

当てはまる項目にチェックを入れて、対策を検討しましょう。

☐ 薄く伸ばすように塗布している、ベースは厚みが出ないように塗布している	
対策	パワーベースは「面接着」ではなく「点接着」で爪と接着しています。そのため、パワーベースにある程度の厚みがないと「点」の接着が部分的に弱くなり、リフトしやすくなる可能性があります。 薄く伸ばすように塗布するのではなく、筆に多めに取り厚みを出しながら塗布してください。1度に厚みを出すのが難しいときは、2度塗りでもOK。厚みの目安は地爪の厚み程度です。 ベース層の「厚み」を意識するようにしましょう。
☐ 硬化時間が短い、または適切でない	
対策	パワーベースはなるべく完全硬化に近づけた方が、その後の定着が良くなります。 ジェルは通常、ランプで硬化した後24時間ほどかけて自然重合し、それから完全硬化します。硬化時間が短いとその分、自然重合の時間が長くなり、完全硬化するまで時間がかかってしまいます。完全硬化するまでは、なるべくお風呂やサウナ、プールなどリフトしやすい環境は避けたいものですが、完全硬化までの時間が長ければ長いほど、リフトのリスクは高くなってしまいます。リフトの可能性を少しでも少なくするため、硬化時間は少し長めにして完全硬化に近づけましょう。 シャイニージェル製ランプでの硬化時間は、以下の通りです。 ●12W/16W...45秒 ●18W/32W/36W...30秒 ※他社製ランプをご使用の場合は、上記の時間を目安として少し長めに照射してください。
☐ キューティクルリムーバーを使用している	
対策	施術前のネイルケアにキューティクルリムーバーを使用した場合、しっかり拭き取っても爪表面に細かい残留物が残ることがあります。爪上に残留物があると、パワーベースの「点」の接着が部分的に弱くなり、リフトしやすくなる可能性があります。 できればドライケアか水かお湯でのウォーターケアが望ましいですが、キューティクルリムーバーを使用する場合はケア後、爪表面を軽くなる程度にサンディングしてみてください。残留物が取り除かれ、持ちが改善されます。
☐ 他社製ジェルからの付け替え	
対策	上のキューティクルリムーバーと同じ理由で、他社ジェルからの付け替えの場合、オフ後に爪表面に細かい残留物が残ることがあります。爪上に残留物があると、パワーベースの「点」の接着が部分的に弱くなり、リフトしやすくなる可能性があります。対策としては、オフ後に爪表面を軽くなる程度にサンディングします。残留物が取り除かれ、持ちが改善されます。 特に、酸性の強いジェルからの付け替えは、爪表面が荒れて細胞変性が生じていえる可能性が高いため、爪自体がリフトしやすい状態になっています。爪の状態が良好になるまではリフトしやすい状況が続きますが、継続的にパワーベースを使用することで健康的な爪に導き、爪の状態も持ちも改善が期待できます。
☐ プライマー、プレプライマーを使用している	
対策	プライマーやプレプライマーを使用すると、地爪のパワーベースの間に別のものが挟まることになり、パワーベースの「爪の水分に反応して接着度を高める」機能が十分に発揮できなくなります。 プライマーやプレプライマーは使用せず、プレパレーション後、エタノール等で爪表面を拭き取りそのままパワーベースを塗布します。

チェックの付いた項目を対策していけば、必ずパワーベースの持ちは改善されていきます。持たない理由は必ずどこかにあります。

爪のこと、自分のこと、お客様のこと。すべてを大事にしたいと考えたとき、答えはパワーベースが握っています！

製品についてのご不明点やパワーベースに関するお問い合わせ、導入のご相談などございましたら、当社までご連絡ください。